

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品(製品)の名称	QMIグラスシーラントタイプT・タイプT II 用 門型洗車機用コンディショナーC
会社名	株式会社ソヴリン
住所	〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口一丁目601番地
電話番号	052-802-6378
FAX	052-805-0699
作成日	2014年3月6日
改訂日	2022年2月2日
推奨用途及び使用上の制限	本製品の主な用途はQMIボディーコート用メンテナンス剤(門型洗車機用) である

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入)	区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

上記で記載がない危険有害性は「分類できない」。

GHSラベル要素 絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚刺激
重篤な眼の損傷
臓器の障害のおそれ(中枢神経系、血液系、腎臓)
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

取扱い後は、手、顔などをよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
漏出物を回収すること。
【保管】 施錠して保管すること。
【廃棄】 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
組成および含有量

化学名	濃度 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR法 No.	毒劇法 No.
エチレングリコール	1-10	107-21-1	2-230	(9)-75	非該当	非該当
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(C=12～15)	3.9	非公開	7-97	非該当	407	非該当
特殊シリコーン、非イオン系界面活性剤、低温安定剤 他	非公開	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当

化審法No.: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法No.: 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 政令番号

PRTR法No.: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法) 政令番号

毒劇法No.: 毒物及び劇物取締法 政令番号

4. 応急措置

- 吸入した場合 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合 直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護 第8項に記載の保護具を着用すること。
ガス、蒸気、ミスト、粉じんなどが存在する場合は、換気を行うこと。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 この製品自体には燃焼性はない。
使ってはならない消火剤 データなし。
特有の危険有害性 データなし。
消火を行う者の保護 データなし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急時措置 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。眼、皮膚への接触やガスや粉じん、ヒュームの吸入を避けること。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること。

屋内の場合、換気をよくして、ガス、蒸気、ミスト、粉塵などの吸入を避けること。

屋外の場合、風上から作業し、風下の人を待避させること。

環境に対する注意事項

やむを得ない場合を除いて、環境への放出を避けること。

排水処理設備を有する場合は、排水処理の責任者に連絡して漏出した製品を多量に含む排水が環境中へ排出されない様に対策を講じること。

水生生物に対して長期的な有害性を示すことがあるので、河川等に流出しない様に注意すること。

封じ込め、浄化の方法 及び機材

水生生物に有害なので、漏出物は下水、水路等に流れ出さない様に回収すること。

漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移すこと。

付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、ぞうきん等よく拭き取る。

大量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引器などで空容器に回収する。

二次災害の防止策

回収した製品は密閉できる容器に回収する。

周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外近づけないようにして二次災害を防止すること。

関係部署(安全・衛生・環境・防災等)に連絡し、適切な対策を講じること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。
取扱い場所近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄の為の設備を設置すること。
容器を転倒、落下、衝撃を加える、又は引きずる等の取扱いをしないこと。
取扱いに際しては、第8項に記載の設備対策(排気、換気)を行い、保護具を着用する等のばく露防止対策を講じること。
作業場の換気を十分に行うこと。

安全取扱注意事項

本安全データシート(SDS)を用いてリスク評価を行い、評価結果に基づき、適切な取り扱い方法を決め、遵守すること。
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、眼に入ったりすることがないように設備とするか、保護具の着用によりばく露しないように注意すること。
取扱い後、付着があれば手、顔等を洗うこと。
休憩所や飲食スペース等には使用した保護具を持ち込まない様にする事。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、顔などをよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱いに際しては、第8項に記載の換気設備対策を行うこと。
第10項に記載の混触危険物質を参照すること。

局所排気・全体換気 接触回避

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

容器を移し替えた時は、新たな容器にも法令の定めに従った表示を行うこと。
製品容器又はそれに代わる十分な強度を有する容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

許容濃度が設定されている成分を含むので、換気設備を設けるなどして、十分な換気を行い、許容濃度以下に保つようにすること。
作業場の近くには手洗い、洗顔の設備を設け、取扱い後には手、顔を洗うようにすること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸用のマスクを着用すること。

手の保護具

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
薬剤を透過、浸透しない適切な材質の保護手袋を着用すること。
経皮吸収性のある成分を含むので、薬剤を透過、浸透させない適切な材質の保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
適切な保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じゴーグル形や保護面を使用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
皮膚を直接ばく露させない様な適切な保護衣を着用すること。
薬剤が浸透しない材質のものが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	乳白色
臭い	わずかにあり
沸点又は初留点 及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び 爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	なし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	約7.0(原液、25°C)
動粘性率	データなし
溶解度	水に溶解及び分散
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	(比重)約1.01(25°C)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の手扱いは安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	皮膚刺激(区分2)
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	重篤な眼の損傷(区分1)
呼吸器感受性 又は皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	臓器の障害のおそれ(中枢神経系、血液系、腎臓)(区分2)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
その他の情報	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	水生生物に毒性(水生環境有害性 短期(急性)区分2) 長期継続的影響によって水生生物に毒性(水生環境有害性 長期(慢性)区分2)
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	分類できない
他の有害影響	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄方法 内容物や容器等の廃棄物は、許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理すること。
排水処理、焼却処理などにより生じた残渣物などについても、廃棄物の処理と清掃に関する法律及び関連法令に準じて処理を行うか、委託すること。
廃棄処理を委託処理する際は、許可を受けた廃棄物処分業者と委託契約を結びマニフェストを添付して依頼すること。
リサイクル容器は内部に何も入れず、栓をしてそのまま返却すること。

※必ず当該地域の廃棄規制をご確認ください。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連分類	クラス9
	国連番号	3082
	品名	環境有害性物質(液体)
	容器等級	III
国内規制	海洋汚染物質	該当
	容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。 第7項の記載内容に従うこと。 消防法、毒劇法、火薬類取締法、高圧ガス保安法等に該当する場合には、それぞれの法令に定められた方法に従うこと。 本製品は原則として日本国内向けであり、船舶または航空機による輸送は想定していない。	
	輸送の特定の安全対策及び条件	陸上輸送: 道路法令の通行禁止・制限に関する規定を遵守すること。 海上輸送: 船舶安全法の定める所に従うこと。 航空輸送: 航空法の定める所に従うこと。
緊急時応急措置指針番号	171	

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

PRTR法	第一種指定化学物質 該当 (第407号 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C=12~15))
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 該当 (別表9の75 エチレングリコール)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非危険物

16. その他の情報

主な引用文献

原料供給者情報	
化学物質管理促進法データ	化学工業日報社
GHS分類結果データベース	製品評価技術基盤機構
労働安全衛生法対象物質全データ	化学工業日報社
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	海文堂
安全データシートの作成指針	日本化学工業協会編
JIS Z 7252:2019	
JIS Z 7253:2019	

ここに記載された危険性・有害性の情報は現時点で入手できた資料や情報に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取扱いには細心の注意を払って下さい。記載事項は、通常の実施を前提としたものです。特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。また、この情報は新しい知見および試験等により改正されることがあります。本データシートは、日本国内法令・日本化学工業協会のSDS作成指針に従って作成しており、日本国外での使用や輸送を想定したものではありませんのでご注意ください。